

各学科等の教育

□入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

【サービスエンジニア学科】

(単位：人)

年度	1年			2年		合計	
	収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数
令和5年度 (2023)	100	55	58	100	79	200	137
令和6年度 (2024)	100	88	89	100	61	200	150
令和7年度 (2025)	75	74	76	100	83	175	159

□入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

【一級自動車整備学科】

(単位：人)

年度	1年			2年		3年		4年		合計	
	収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数
令和4年度 (2022)	75	71	72	75	69	75	75	75	55	300	271
令和5年度 (2023)	75	43	48	75	58	75	65	75	66	300	237
令和6年度 (2024)	75	44	46	75	36	75	56	75	62	300	200
令和7年度 (2025)	85	63	64	75	41	75	30	75	49	310	184

【研究開発学科】

(単位：人)

年度	1年			2年		3年		4年		合計	
	収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数
令和4年度 (2022)	85	60	63	85	65	75	61	75	70	320	259
令和5年度 (2023)	85	46	46	85	55	85	60	75	57	320	259
令和6年度 (2024)	85	35	36	85	40	85	47	75	55	330	178
令和7年度 (2025)	85	42	42	85	36	85	41	85	43	340	162

□カリキュラム

教育科目別時間配分表
(サービスエンジニア学科)

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	合計	
専門科目	学科	必修	自動車工学	190	160	350
			自動車整備	135	75	210
			自動車法規	7	16	23
			自動車検査	0	22	22
			小計	332	273	605
	実習	必修	自動車整備作業	660	470	1,130
			自動車検査作業	0	53	53
			小計	660	523	1,183
	小計		992	796	1,788	
	一般科目	必修	安全運転	18	18	36
接客実務			18	18	36	
特別講座			18	90	108	
小計			54	126	180	
卒業に必要な総時間数			1,046	922	1,968	
各教科以外の教育活動			150	150	300	
合計			1,196	1,072	2,268	

※1時間は50分を1つの単位としています。

別表

教育科目別時間配分表
(一般自動車整備学科)

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
専門科目	学科	必修	自動車工学	190	160	90	0	440
			自動車整備	135	75	190	0	400
			自動車法規	7	16	10	0	33
			自動車検査	0	22	7	0	29
			自動車原論	0	0	23	93	116
			サービスマネジメント	0	0	7	7	14
			小計	332	273	327	100	1,032
	実習	必修	自動車整備作業	660	470	480	0	1,610
			自動車検査作業	0	53	20	0	73
			サービスマネジメント	0	0	100	30	130
			小計	660	523	600	30	1,813
	実務実習	必修	体験実習	0	0	0	150	150
			評価実習	0	0	0	580	580
			小計	0	0	0	730	730
	小計		992	796	927	860	3,575	
	一般科目	必修	安全運転	18	18	0	0	36
			接客実務	18	18	0	0	36
特別講座			18	90	0	0	108	
経営原論			0	0	30	30	60	
営業実務			0	0	60	60	120	
価値観型技術			0	0	30	30	60	
小計			54	126	120	120	420	
卒業に必要な総授業時間数			1,046	922	1,047	980	3,995	
各教科以外の教育活動			150	150	100	100	500	
合計			1,196	1,072	1,147	1,080	4,495	

※1時間は50分を1つの単位としています。

別表

□カリキュラム

教育科目別時間配分表
(研究開発学科)

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
専 門 科 目	学 科	自動車工学	190	160	0	0	350
		自動車整備	135	75	0	0	210
		自動車技術	0	0	68	0	68
		自動車法規	7	16	0	0	23
		自動車検査	0	22	0	0	22
		小計	332	273	68	0	673
	実 習	自動車整備作業	660	470	0	0	1,130
		自動車検査作業	0	53	0	0	53
		総合技術(機械要素等)	0	0	34	112	146
		小計	660	523	34	112	1,329
	基 本 技 術	設計技術	0	0	451	17	468
		加工技術	0	0	122	54	176
		制御技術	0	0	177	68	245
		小計	0	0	750	139	889
	応 用 技 術	設計演習	0	0	0	85	85
		制御演習	0	0	0	136	136
		小計	0	0	0	221	221
	研 究	課題研究	0	0	0	331	331
		小計	0	0	0	331	331
		小計	992	796	852	803	3,443
一 般 科 目	安全運転	18	18	0	0	36	
	接客実務	18	18	0	0	36	
	特別講座	18	90	43	68	219	
	情報処理技術	0	0	43	0	43	
	小計	54	126	86	68	334	
卒業に必要な総授業時間数			1,046	922	938	871	3,777
各教科以外の教育活動			150	150	120	70	490
合 計			1,196	1,072	1,058	941	4,267

※1時間は50分を1つの単位としています。

別表

学則

第5章 学習の評価、課程修了の認定、卒業及び転科

(履修の方法)

第18条 履修の方法に関し必要な事項は、校長が別に定める。

(学習評価)

第19条 学習の評価は、学科については筆記試験により、実技については実技試験により行なう。

但し、校長が必要と認めるときは報告書の提出、又は、「教育科目履修等認定委員会」の認定をもってこれにかえることができる。

2 筆記試験は、各科目ごとに行なう平常試験、期末試験及び卒業試験とし、校長が必要と認めるときは臨時に試験を行なうことができる。

3 病気、その他やむを得ない理由で試験を欠席した者については、追試験を行なう。

4 第2項の試験の結果、不合格の科目がある者に対し、その科目について願い出により再試験又は、特別補講を行なうことができる。

5 学生が本校以外での学修をもって、本校の教育科目を修了したものと見なすことを願い出た場合は、「教育科目履修等認定委員会」において審査し、これを修了したものと認定することができる。

(課程修了の認定)

第20条 各学年の課程の修了は、その科目の出席状況及び学習の評価を勘案して学年末に認定する。

2 前項について、事情により学年末に認定できない場合は、別の定めにより、これを認定することがある。

3 一級自動車整備学科・研究開発学科においては、2学年の課程の修了をもって修了証を交付する。

□進級卒業の要件等

(原級留置)

第21条 各学年の所定の科目を修了することができなくなった学生について教育上必要があるときは、原級に留め置くことがある。

- 2 一級自動車整備学科・研究開発学科に入学した者については、遅くとも、3年次当該年の最初に行なわれる二級自動車整備士登録試験合格発表時に所定の資格を取得できる見通しが無い場合は、次年度も原級に留め置く。

(卒業、称号の授与)

第22条 校長は、本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。

- 2 前項により、専門課程サービスエンジニア学科を修了した者には、専門士(工業専門課程)の称号を授与する。

- 3 第1項により、工業専門課程一級自動車研究開発学科を修了した者には、高度専門士(工業専門課程)の称号を授与する。

(転科)

第23条 学生が在籍学科以外の学科への転科を希望する場合は、選考の結果、これを許可することがある。

細則

(学習評価の基準)

第17条 学習評価の時期は、各学期末及び全科目修了を認定するときとする。

2 学期末の学習評価は、平常試験、報告書及び期末試験を総合して評価する。

3 学習評価は、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

- (1) 5：特に成績優秀な者
- (2) 4：成績良の者
- (3) 3：成績普通の者
- (4) 2：成績やや劣る者
- (5) 1：成績特に劣り、不合格の者

4 評価は、次の基準による。

●試験点数の評価

- (1) 5：90～100点
- (2) 4：75～89点
- (3) 3：60～74点
- (4) 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

●報告書の評価

- (1) 5：非常に優れている
- (2) 4：優れている
- (3) 3：普通
- (4) 2：やや劣る
- (5) 1：劣る（再提出の必要がある）

5 期末及び卒業試験の合格点は、各科目毎に100点満点による60点以上とする。

6 追試験または再試験等の得点は、試験結果の90%を得点とみなす。

但し、追試験に至った理由が止むを得ないものであると認めた場合は、この限りではない。

(追再試験の取扱)

第18条 追試験または再試験の手続、その他の事項は、次のとおりとする。

- (1) 追試験または再試験を行なう日時、場所及び方法は学校が指定する。
- (2) 追試験を受けようとする者は、欠席理由を明記した追試験願を事前に提出しなければならない。
- (3) 追試験または再試験の願い出には、願書に追試験及び再試験1科目ごとに2,000円を添えなければならない。
- (4) 再試験については、特別な補講をもってこれにかえることができる。
- (5) 病気その他やむを得ない理由により追試験または再試験を欠席する場合には、欠席理由を明記した追試験または再試験延期願を事前に提出しなければならない。この場合にあつては、追試験または再試験料は免除する。

(補講の取扱)

第19条 出席率が、別途定める基準に満たない者に対しては、その科目について願い出により補講を行なうことができる。

2 補講の手続、その他の事項は、次のとおりとする。

- (1) 補講を行なう日時、場所及び方法は、学校が指定する。
- (2) 補講の願い出は、願書に補講料1科目毎に1時限当り2,000円を添えなければならない。
- (3) 国土交通省の定める自動車整備士養成課程における教育科目(専門科目)以外の科目の補講については、特別な報告書をもってこれにかえることができる。
- (4) 病気、その他やむを得ない理由により、補講を欠席する場合には、欠席理由を明記した補講延期願を提出しなければならない。但し、この場合、補講料は免除する。

(学習評価の通知)

第20条 期末及び卒業試験の学習評価の結果は、学生及び保護者又は保証人に通知する。
許可することがある。

□進級卒業の要件等

(修了の認定)

第21条 各科目の修了は、その科目の出席の状況及び試験の成績を勘案して認定する。

2 「教育科目履修等認定委員会」において修了したものと認定することができる本校以外での学修は

「専修学校設置基準の一部を改正する省令（平成11年文部省令第47号）」で定める範囲とする。

3 「教育科目履修等認定委員会」の運営の詳細は別に定める。

4 一級自動車研究開発学科2学年の全科目について課程の修了を認定した者には、別途定める修了証を交付する。

(原級留置)

第22条 学則第21条2項で定める「一級自動車整備士養成課程の受講に必要な二級自動車整備士資格」とは、

2級がリン及び2級ディーゼル自動車整備士の資格をいう。

(卒業の認定)

第23条 卒業認定会議の結果、卒業に必要な全科目が一定の基準に達し、出席率良好、性行良行と認められるものには、

校長が卒業を認定する。

□資格取得・検定等の実績（令和6年度の実績）

公的資格名称	サービス エンジニア学科	一級自動車研究開発学科 一級自動車整備士コース (一級自動車整備学科)	一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース (研究開発学科)	一級自動車研究開発学科 (海外インターンシップコース)
国家一級自動車整備士	—	93.4%	—	—
国家二級自動車整備士（ガソリン）	100%	100% (2年修了)	100% (2年修了)	—
国家二級自動車整備士（ディーゼル）	100%	100% (2年修了)	100% (2年修了)	—
損害保険募集人資格（基礎単位）	90.3%	96.2%	100%	—
損害保険募集人資格（自動車単位）	—	91.8%	—	—
危険物丙種	88.7%	90.2%	87.5%	—

本田技研工業（株）の認定資格	サービス エンジニア学科	一級自動車研究開発学科 一級自動車整備士コース (一級自動車整備学科)	一級自動車研究開発学科 開発・設計工学コース (研究開発学科)	一級自動車研究開発学科 (海外インターンシップコース)
ホンダ四輪サービス2級エンジニア	—	70%	—	—
ホンダ四輪サービス3級エンジニア	98.8%	100% (2年修了)	100% (2年修了)	—
ホンダ二輪サービス3級エンジニア	100%	100.0%	—	—
ホンダセーフティコーディネーター	100%	100%	100%	—
ホンダライディングアドバイザー	100%	100%	100%	—

□卒業後の進路（2024年度の実績）

※(株)HC・・・(株)ホンダカーズの略

学科	卒業 者数	就職 希望者数	就職 者数	就職率	主な就職先	進学者数	進学先
サービスエンジニア学科	59	56	56	100%	本田技研工業(株)	1	1名 ホ ンダ テク ニカル カ レッジ 関 東
					(株)ホンダモビリティ南関東（HC埼玉）		
					(株)ホンダモビリティ南関東（HC東京中央）		
					(株)ホンダモビリティ南関東（HC千葉）		
					(株)ホンダモビリティ東北（ホンダ四輪販売南・東北）		
					(株)ホンダカーズ埼玉南		
					(株)ホンダモビリティ九州（ホンダ四輪販売九州北）		
					(株)ホンダドリームジャパン		
					(株)ホンダカーズ静岡		
					(株)ホンダカーズ埼玉中		
					(株)ホンダカーズ埼玉西		
					(株)櫻井ホンダ		
					(株)沖縄ホンダ		
					(株)ホンダカーズ東京西		
					ホンダモトアップ(株)		
					西武バス(株)		
					(株)ホンダ二輪・新宿		
					(株)ホンダ四輪販売八戸（HC青森東）		
					(株)ホンダモビリティ北関東（HC松本中央）		
					(株)ホンダモビリティ北関東（HC山梨）		
					(株)ホンダモビリティ南関東（HC千葉）		
					(株)ホンダモビリティ中部（HC北陸）		
					(株)ホンダカーズ両毛（HV新栃木）		
					(株)ホンダカーズ東白川		
					(株)ホンダカーズ東京		
					(株)ホンダカーズ青森東		
					(株)ホンダカーズ神奈川北		
					(株)ホンダカーズ新潟中央		
					(株)ホンダカーズ埼玉北		
					(株)ホンダカーズ熊谷（ホンダニュー埼玉）		
(株)ホンダカーズしなの							
全日空モーターサービス(株)							

□卒業後の進路（2024年度の実績）

学科	卒業 者数	就職 希望者数	就職 者数	就職率	主な就職先	進学者数	進学先
1級自動車整備学科	61	56	56	100%	本田技研工業(株)	1	吉本興業 養成所
					(株)ホンダモビリティ南関東（HC埼玉）		
					(株)ホンダモビリティ南関東（HC東京中央）		
					(株)オートテックジャパン		
					(株)ホンダモビリティ東北（ホンダ四輪販売南・東北）		
					(株)ホンダカーズ埼玉南		
					(株)ホンダカーズ静岡		
					(株)ホンダカーズ埼玉中		
					東京海上日動調査サービス(株)		
					(株)ホンダカーズ東京西		
					(株)ホンダモビリティ北関東（HC栃木）		
					(株)ホンダモビリティ北海道（ホンダ四輪販売北海道）		
					(株)ホンダモビリティ中四国		
					(株)ホンダカーズ栃木中央		
					(株)ホンダカーズ長野中央		
					(株)ホンダカーズ宮城		
					(株)エフテック		
コマツカスタマーサポート(株)							
コマツ産機(株)							
コーンズ(株)							

□卒業後の進路（2024年度の実績）

学科	卒業 者数	就職 希望者数	就職 者数	就職率	主な就職先	進学者数	進学先
研究開発学科	53	50	50	100%	本田技研工業(株)	0	-
					(株)オートテックジャパン		
					日立Astemo(株)		
					(株)神戸製鋼所		
					本田金属技術(株)		
					矢崎部品(株)		
					(株)アビスト		
					キタムラ機械(株)		
					(株)メイテックフィルダー		
					森六(株)		
					小金井精機(株)		
					SOLIZE(株)		
					(株)ジーテクト		
					(株)タマテック		
					日本プラスト(株)		
					八千代工業(株)		
					スズキ(株)		
					(株)都築製作所		
					Eグラフィック(株)		
					(株)M-T E C		
					(株)アドバンス		
					(株)フコク		
					山下ゴム(株)		
(株)アルプス技研							
(株)ホンダレインボーモータースクール							
(株)ホンダロジティクス							
日本製鉄(株)							
メッツ(株)							